

令和4年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
（「指定管理者制度導入の適否」に係る審査）

- 1 開催日時 令和4年5月20日（金）10：18～10：30
- 2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 対象施設 青森市観光交流情報センター
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 舘山 公（企画部次長）
副委員長 工藤 拓実（総務部次長）
委員 泉 宏明（環境部次長）
委員 土岐 政温（都市整備部次長）
委員 大久保 綾子（教育委員会事務局教育次長）
委員 桃野 敬（東北税理士会青森支部）
 - (2) 施設所管課（経済部交流推進課）
課長 木立 圭史
主幹 白取 芳樹
主事 酒井 菜那
 - (3) 制度所管課（財政課）
副参事 阿部 有一郎
主幹 宮崎 恭次
主査 盛 将秀
- 5 案件 「指定管理者制度導入の適否」に係る審査
- 6 審査結果 全委員異議なく、次のとおり了承された。
 - (1) 指定管理制度導入の適否：適
 - (2) 指定期間：5年間
 - (3) 利用料金制：なし
 - (4) 募集形態：公募
 - (5) グルーピングの適否：なし（単独施設）

7 主な質疑内容

委員：トイレの汚れに対する意見は、件数が多いのか。

施設所管課：JR青森駅の改札外にあったトイレが同駅の改修工事に伴い無くなったことにより、当センターのトイレ利用者が増加し、その結果、汚れがひどくなったという経緯がある。トイレが詰まった場合などには、速やかに清掃を依頼するなどしている。

委員：使用料収入について、令和4年度予算額1,945千円対して、令和3年度の見込額が2,023千円と多くなっているが、その要因は何か。

施設所管課：令和3年9月から新たにコインロッカーを設置したことにより、その分の収入として共益費が増えている。

委員：資料3の「青森市観光交流情報センター管理運営業務仕様書」の「8 職員の配置」欄に、「実用英語技能検定2級相当の語学力を有する職員を2名以上配置する」とあるが、実際に配置できているのか。

施設所管課：英語対応可能な職員は現在2名配置されており、青森ねぶた祭期間中の繁忙期には、さらに臨時で1名配置し、3人体制となる。

委員：外国語対応として可能なのは英語だけなのか。

施設所管課：職員が対応可能な言語は英語であるが、それ以外の言語については、タブレットを用いて翻訳アプリによる対応を行っている。

委員：「あおもり街てく」に携わるガイドについて、募集から勉強会の実施まで市は直接関わっているのか。

施設所管課：指定管理者である青森観光コンベンション協会が実施している。